

# 南アフリカの政策金利引き上げについて

## ポイント① 政策金利を7.00%に引き上げ

3月17日、南アフリカ準備銀行（中央銀行）は金融政策決定会合において、政策金利であるレポレート<sup>1</sup>を0.25%引き上げ、7.00%とすることを決定しました。市場の大半は今回の利上げを予想していました。利上げは3会合連続となりますが、利上げ幅は前回の0.50%から縮小されました。

## ポイント② インフレ圧力への対応を優先

今回の決定の背景には、インフレ圧力が上昇していることがあります。通貨ランドの下落や干ばつの影響などを受けて食料品価格が高騰しており、1月のインフレ率は+6.2%と、同中銀のインフレ目標レンジの上限を上回っています。また、同中銀は声明において、中長期的なインフレ見通しは改善したものの、当面の間は目標レンジを上回るほか、上振れリスクがあると説明しています。

一方で、コモディティ価格の下落や最大の輸出先である中国の景気減速などにより、同国の景気は低迷しています。2015年10-12月期の実質GDP（国内総生産）成長率は前期比年率+0.6%となり、前四半期から減速しました。さらに、同中銀は2016年と2017年の経済成長率見通しをそれぞれ0.8%（従来は0.9%）、1.4%（同1.6%）に下方修正したほか、ダウンサイドリスクがあるとみえています。

同中銀は高インフレと低成長というジレンマに直面する中、今回の決定は引き続きインフレ抑制を優先したものととなりました。

## ポイント③ 南アフリカランドは上昇

今回の決定を受けて、3月17日のニューヨーク外国為替市場では、対米ドルで前日比3.2%程度、対円で同2.2%程度の南アフリカランド高となりました。同国の高インフレや低成長に加え、政治的な不透明感の高まり、投機的格付への格下げリスクなどが懸念される中で、同中銀の高インフレやランド安に配慮を示す姿勢が好感されました。

今後の金融政策について、市場では追加利上げを予想する声もあります。

重要  
イベント

3月23日	消費者物価指数（2月）
3月31日	貿易収支（2月）
5月19日	金融政策発表

図1：政策金利の推移

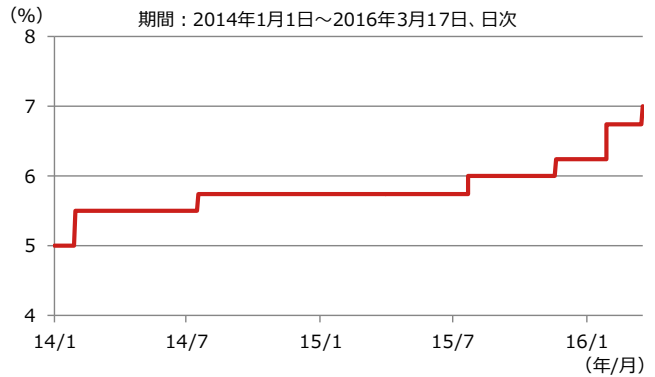


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

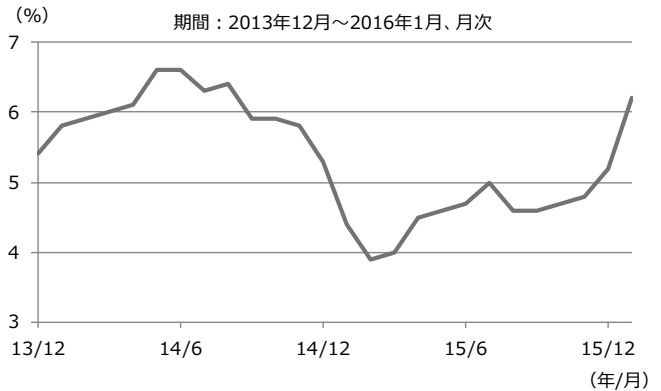
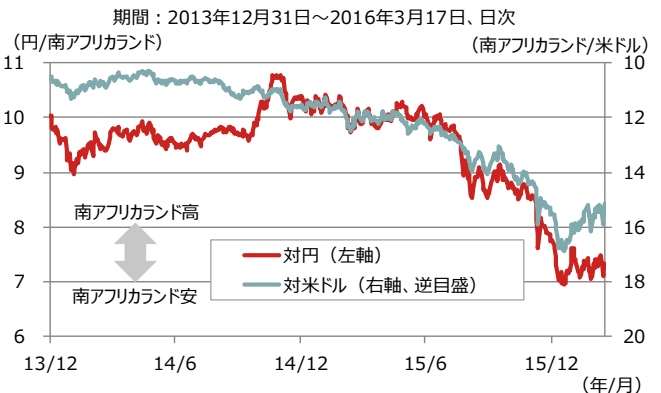


図3：為替レートの推移



(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。